

平成29年度

富山県東部消防組合一般会計  
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員



平成30年 6 月28日

富山県東部消防組合  
管理者 村椿 晃 様

富山県東部消防組合  
監査委員 水 野 勝 行

監査委員 川 崎 和 夫

平成29年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された平成29年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。



# 平成29年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

## 1 審査の対象

### (1) 歳入歳出決算書

平成29年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算

### (2) 附属書類

平成29年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

平成29年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

平成29年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

## 2 審査の期日と場所

期 日 平成30年6月28日

場 所 富山県東部消防組合消防本部 2階会議室

## 3 審査の方法

審査は、平成29年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

## 4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

## 5 決算の概要

平成29年度の一般会計の決算額は、予算総額1,219,903,000円に対し、歳入1,221,017,449円（予算対比100.1%）、歳出1,184,954,388円（予算対比97.1%）であり、差引形式収支額は36,063,061円である。前年度決算額と比較して歳入で35,925,154円の減、歳出で22,486,581円の減となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は36,063,061円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支36,063,061円の黒字となった。

なお、当年度実質収支36,063,061円から前年度実質収支49,501,634円を差し引いた当年度の単年度収支は13,438,573円の赤字となっている。

## 決算収支状況

(単位:円)

年度	会計	歳入 A	歳出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
29	一般	1,221,017,449	1,184,954,388	36,063,061	0	36,063,061	49,501,634	△13,438,573
	計	1,221,017,449	1,184,954,388	36,063,061	0	36,063,061	49,501,634	△13,438,573
28	一般	1,256,942,603	1,207,440,969	49,501,634	0	49,501,634	32,131,149	17,370,485
	計	1,256,942,603	1,207,440,969	49,501,634	0	49,501,634	32,131,149	17,370,485
増 減	一般	△35,925,154	△22,486,581	△13,438,573	0	△13,438,573	17,370,485	△30,809,058
	計	△35,925,154	△22,486,581	△13,438,573	0	△13,438,573	17,370,485	△30,809,058

なお、平成29年度における主要事業は下記のとおりである。

事業名	事業の内容
救急救命士養成経費の本部執行	各署間の人事交流等を考慮し、これまで自賄い予算で執行していた救急救命士研修旅費、負担金等を、本部予算にて執行した。
化学泡消火剤の購入	各署配備の化学車に搭載されている泡消火剤の補填分を購入し、本部にて保管した。
A VMナビ道路地図編集装置の導入	道路変更に対応するため、道路地図編集データ反映対応(配信)機器及び対応地図データを導入した。(リース対応)
庁舎シャッター改修工事	魚津消防署の老朽化した車庫オーバースライドシャッターを平成29年度から平成32年度まで年次的に改修する。

## 6 一般会計

平成29年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

歳入 1,221,017,449円（予算対比100.09%）

歳出 1,184,954,388円（予算対比 97.14%）

この差引残額（形式収支）36,063,061円から、翌年度に繰り越すべき財源はなく、実質収支36,063,061円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支36,063,061円から前年度実質収支49,501,634円を差し引いた当年度の単年度収支は13,438,573円の赤字となっている。

### (1) 歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対 比	調定額 対 比
29年度	1,219,903,000	1,221,017,449	1,221,017,449	0	0	100.1%	100.0%
28年度	1,256,334,000	1,256,942,603	1,256,942,603	0	0	100.1%	100.0%

#### ① 収入状況

予算額に対する収入割合は100.1%であり、前年度収入済額と比較して35,925,154円の減となっている。

収入の主なものは、分担金及び負担金で、収入額は1,158,920,766円で全体の94.9%を占めている。以下、使用料及び手数料が1,761,950円で0.1%、県支出金が10,602,000円で0.9%、繰越金が49,501,634円で4.1%、諸収入が231,099円で0.02%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

#### 収 入 状 況

（単位：円）

区 分	予算額	調定額	収 入 済 額				不納 欠損 額	収入 未済 額
			金 額	構成比 (%)	予算対 比(%)	調定対 比(%)		
1. 分担金及 び負担金	1,158,921,000	1,158,920,766	1,158,920,766	94.9	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及 び手数料	1,618,000	1,761,950	1,761,950	0.1	108.9	100.0	0	0
3. 県支出金	9,659,000	10,602,000	10,602,000	0.9	109.8	100.0	0	0
4. 繰越金	49,502,000	49,501,634	49,501,634	4.1	100.0	100.0	0	0
5. 諸収入	203,000	231,099	231,099	0.0	113.8	100.0	0	0
計	1,219,903,000	1,221,017,449	1,221,017,449	100.0	100.1	100.0	0	0

## ② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金からなる依存財源に分類してみると、自主財源は51,494,683円、依存財源は1,169,522,766円となっており、その構成比は、自主財源4.2%、依存財源95.8%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源99.0%、特定財源1.0%となっている。

### 第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
29年度	1,158,921,000	1,158,920,766	1,158,920,766	0	0	100.0%	100.0%
28年度	1,189,918,000	1,189,917,851	1,189,917,851	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は1,158,920,766円で、歳入総額に占める割合は全体の94.9%となっており、収入済額の内訳は、組合構成市町村からの組合運営費負担金で、魚津市527,836,585円、滑川市338,752,427円、上市町256,654,182円、舟橋村35,677,572円となっている。

### 第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
29年度	1,618,000	1,761,950	1,761,950	0	0	108.9%	100.0%
28年度	1,510,000	1,725,150	1,725,150	0	0	114.2%	100.0%

収入済額は1,761,950円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分461,750円、滑川市分1,098,250円、上市町分198,350円、防火管理講習修了証再交付手数料等3,600円となっている。

### 第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
29年度	9,659,000	10,602,000	10,602,000	0	0	109.8%	100.0%
28年度	6,538,000	6,258,846	6,258,846	0	0	95.7%	100.0%

収入済額は10,602,000円で、歳入総額に占める割合は全体の0.9%となっており、収入済額の内訳は、消防防災航空隊員派遣等人件費負担金6,443,000円、消防防災航空隊派遣助成金1,121,000円、消防施設整備事業費補助金3,038,000円となっている。

#### 第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
29年度	49,502,000	49,501,634	49,501,634	0	0	100.0%	100.0%
28年度	32,132,000	32,131,149	32,131,149	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は49,501,634円で、歳入総額に占める割合は全体の4.1%となっており、収入済額の内訳は、平成28年度繰越金となっている。

#### 第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
29年度	203,000	231,099	231,099	0	0	113.8%	100.0%
28年度	236,000	1,009,607	1,009,607	0	0	427.8%	100.0%

収入済額は231,099円で、歳入総額に占める割合は全体の0.02%となっており、収入済額の内訳は、共済事務等手数料122,935円、講習会場提供謝礼60,000円、気象観測謝礼32,200円、その他15,964円となっている。

### (2) 歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
29年度	1,219,903,000	1,184,954,388	0	34,948,612	97.1%
28年度	1,256,334,000	1,207,440,969	0	48,893,031	96.1%

#### ① 支出状況

予算額に対する執行率は97.1%であり、前年度支出済額と比較して22,486,581円の減となっている。

支出の主なものは、組合議会費719,401円、組合運営費114,650円、監査委員費54,483円、職員給与費896,118,796円、消防本部運営費105,825,281円、魚津署運営費17,048,265円、滑川署運営費17,544,991円、上市署運営費15,355,970円、舟橋分遣所運営費2,894,162円、消防本部施設整備費890,080円、魚津署施設整備費2,754,000円、起債償還元金119,716,000円、起債償還利子5,918,309円である。

決算額を性質別(構成比)にみると、義務的経費では、人件費で887,045千円(74.9%)、物件費で144,677千円(12.2%)、維持補修費で3,894千円(0.3%)、扶助費で11,210千円(0.9%)、補助費等で9,040千円(0.8%)、公債費で125,634千円(10.6%)、義務的経費全体では1,181,500千円となり、決算総額の99.7%を占めている。

投資的経費では、普通建設事業費で3,454千円となり、決算総額の0.3%を占めている。

### 性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分	29年度決算額	構成比
1 人件費	887,045	74.9%
2 物件費	144,677	12.2%
3 維持補修費	3,894	0.3%
4 扶助費	11,210	0.9%
5 補助費等	9,040	0.8%
6 公債費	125,634	10.6%
うち元金	119,716	10.1%
うち利子	5,918	0.5%
計	1,181,500	99.7%
7 投資的経費	3,454	0.3%
普通建設事業	3,454	0.3%
うち単独事業	3,454	0.3%
歳出合計	1,184,954	100.0%

支出状況は、次の表のとおりである

## 支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	構成比	執行率		
			(%)	(%)		
1. 議会費	913,000	719,401	0.1%	78.8%	0	193,599
2. 総務費	344,000	169,133	0.0%	49.2%	0	174,867
3. 消防費	1,091,934,000	1,058,431,545	89.3%	96.9%	0	33,502,455
4. 公債費	125,712,000	125,634,309	10.6%	99.9%	0	77,691
5. 予備費	1,000,000	0	0.0%	0.0%	0	1,000,000
計	1,219,903,000	1,184,954,388	100.0%	97.1%	0	34,948,612

### 第 1 款 議会費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
29年度	913,000	719,401	0	193,599	78.8%
28年度	913,000	748,446	0	164,554	82.0%

支出済額は719,401円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっている。  
不用額は193,599円で、予算額に対する執行率は78.8%となっている。

### 第 2 款 総務費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
29年度	344,000	169,133	0	174,867	49.2%
28年度	344,000	225,175	0	118,825	65.5%

支出済額は169,133円で、歳出総額に占める割合は全体の0.01%となっており、支出済額の内訳は、組合運営費114,650円、監査委員費54,483円となっている。  
不用額は174,867円で、予算額に対する執行率は49.2%となっている。

### 第3款 消防費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
29年度	1,091,934,000	1,058,431,545	0	33,502,455	96.9%
28年度	1,127,813,000	1,080,304,002	0	47,508,998	95.8%

支出済額は1,058,431,545円で、歳出総額に占める割合は全体の89.3%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費896,118,796円、消防本部運営費105,825,281円、魚津署運営費17,048,265円、滑川署運営費17,544,991円、上市署運営費15,355,970円、舟橋分遣所運営費2,894,162円、消防本部施設整備費890,080円、魚津署施設整備費2,754,000円となっている。

不用額は33,502,455円で、予算額に対する執行率は96.9%となっている。

### 第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
29年度	125,712,000	125,634,309	0	77,691	99.9%
28年度	126,264,000	126,163,346	0	100,654	99.9%

支出済額は125,634,309円で、歳出総額に占める割合は全体の10.6%となっており、支出済額の内訳は、起債償還元金119,716,000円、起債償還利子5,918,309円である。

不用額は77,691円で、予算額に対する執行率は99.9%となっている。

なお、平成30年3月末現在で、起債償還残高は元金で1,041,790千円となっている。

### 第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
29年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%
28年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%

平成29年度において予備費の執行は無かったため、不用額1,000,000円、執行率0.0%となっている。

## 7. 財産管理

### (1) 土地について

該当なし

### (2) 建物について（平成29年度中の異動なし）

本部通信指令センター 延床面積579.01㎡

上市消防署舟橋分遣所 延床面積273.06㎡

天神山基地局 延床面積 5.85㎡

### (3) 物品について（平成29年度中に取得した1件10万円以上）

	区 分	数量
(本部)	救急用カプノメータ	1
(魚津署)	張力計	1
	空気呼吸器用ポンベ	3
	潜水用器具一式	1
	携帯警報器	5
	夜間用暗視装置	1
(滑川署)	空気呼吸器用ポンベ	1
	携帯警報器	5
	消防用ホース	10
(上市署)	空気呼吸器	2
	空気呼吸器用ポンベ	2
	プロジェクター	1
	レスキューカッター	1
	山岳遭難対策用携帯型無線機	2
(舟橋分遣所)	急速充電器	1

## 8. 意見

全体として、予算の執行はおおむね適正であると認められるが、一部の事業において、予算に対し、支出額がかい離しているものが見受けられる。様々な要因があるとは思いますが、適切に予算を見込むことに加え、事業の目的を最大限に生かされるような執行に努められたい。

## 9. むすび

以上、平成29年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べた。

予算の執行に際しては、関係諸帳簿等は正確に処理されており、事務事業の執行については、関係法令に準拠して適切に執行されていた。

組合として6年目を迎えるが、本部、各署においては、なお一層の経費節減を図りつつ、合理的かつ効率的な予算執行となるよう努力されるとともに、地域住民が安心して安全に暮らせるよう、引き続き消防広域化のメリットを十分に生かした火災・救急・救助体制の充実、強化に努められたい。